

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0006  
 住 所 川崎市川崎区砂子一丁目8番地1 川崎室町ビル  
 氏 名 出光ルブテクノ株式会社  
 代表取締役社長 鈴木 忠 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	出光ルブテクノ株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区水江町6番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	17	石油製品・石炭製品製造業
主たる事業 の内容	潤滑油の貯蔵、製造、出荷		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,791	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担 当 部 署 名	保全部
		所 在 地	川崎市川崎区水江町6番2号
		電話番号	044-288-2264
		F A X 番号	044-287-6488
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成28年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,516 t-CO <sub>2</sub> (調) 4,749 t-CO <sub>2</sub>	(実) 3,641 t-CO <sub>2</sub> (調) 4,900 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub> (調) t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub> (調) t-CO <sub>2</sub>	(実) 3,672 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) -3.6 % (調) -3.2 %	(実) % (調) %	(実) % (調) %	(実) -4.4 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	製造数量		単位		t-CO <sub>2</sub> /千kL	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値	
排出量 原単位等の値	23.37	23.09			22.67	
削減率		1.2 %	%	%	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	当該年度の製造数量が基準年度比+4.8%となったことが要因となりエネルギー全体の使用量が増加した。ただし灯油削減のためスチーム供給先を選定する運用を変更したり、コンプレッサーの運転時間短縮等の活動により原単位を1.2%減少させることが出来た。2016年10月から管理部署の一部が分離しテナントビルに転居したため全体の電気使用量は今後増加する見込みである。
第2年度	
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部機関の利用</li> <li>・ 熱利用設備に係る断熱の保全管理</li> <li>・ スチームトラップの保全管理</li> <li>・ エアコン更新（新設、更新等における措置）</li> <li>・ ロスナイ導入（新設、更新等における措置）</li> <li>・ コンプレッサーの保全管理</li> <li>・ 配管電気加熱設備の運用管理（電動力応用設備の無負荷管理）</li> <li>・ 照明器具の運用管理（新設、更新等における措置）</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熱利用設備に係る断熱の保全管理 保温タンク（51kl×3基）の保温材を更新した。</li> <li>・ エアコン更新（新設、更新等における措置） エアコン入替（6系統）の際、高効率機器を選定した。</li> <li>・ 照明器具の運用管理（新設、更新等における措置） 照明器具の更新を実施した際、LEDを採用した。</li> <li>・ 蒸気供給の管理 夏季における限定負荷運用の期間を延長した</li> <li>・ その他の管理 製造におけるタンク加温を許容の下限値を目指した運転の実施</li> </ul>
	第2年度	
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



4 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する処置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物の分別、再利用化率を向上させる取り組みを実施する。</li> <li>・ 社内で使用する用紙を削減する取り組みを実施する。</li> </ul>
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物の分別・再利用に取り組み、再資源化率90%以上を達成した。</li> <li>・ コピー用紙の削減に取り組み、A4換算で12,500枚の減少を行った。</li> </ul>
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,576	t-CO <sub>2</sub>
(調)	2,985	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
出光興産(株) 京浜ルブセンター	川崎市川崎区水江町6番2号	1721	潤滑油製造業	3,551 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k <sub>l</sub> 未満	
300~400k <sub>l</sub> 未満	
200~300k <sub>l</sub> 未満	
100~200k <sub>l</sub> 未満	
100k <sub>l</sub> 未満	1

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--